

(参考) 令和6年度 実績報告書 記入要領

1. 目的

本実績報告書は、本市内における産業廃棄物の処理状況の把握及び廃棄物行政推進のための基礎資料とするため、産業廃棄物処理施設設置者の皆様に、毎年、処理状況をご報告いただいているものです。

2. はじめに

- ・備え付けている帳簿（法第12条第13項）に基づき、正確に記入してください。
- ・可能な限り、以下のエクセルファイルでの作成・提出をお願いいたします。

報告様式（エクセル形式）ダウンロードページ

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/sanhai/hp/sangyouhaikibutu/syorisidougakari/015.html>

（「福岡市 産業廃棄物 実績報告」で検索）

3. 報告対象年度

令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

年度途中に産業廃棄物処理施設を廃止している場合には、廃止前までの実績を報告してください

4. 報告対象

- ・排出事業者（元請けなど）として産業廃棄物処理施設（15条施設）を使用し、産業廃棄物の処分を行った実績。
- ・実績が無い場合にも、「実績なし」と記入の上、必ず報告ください。

5. 記入方法（別紙：記入例もご参照ください）

(1) 報告者（記入例：A）

本市に届出している設置者の住所、氏名、電話番号を記入してください。

電話番号の欄には、担当者名も記入してください。

(2) 事業場の所在地（記入例：B）

産業廃棄物処理施設を設置している事業場の所在地、電話番号を記入して下さい。

移動式施設の場合は、その移動式施設を持ち込んで処理した排出事業場を記入してください

(3) 産業廃棄物処理施設の種類（記入例：C）

施設の設置許可証を参考にして施設の種類を記入してください。

（記入例）汚泥の脱水施設、がれき類の破碎施設（移動式）、焼却施設（廃プラスチック類、紙くず、木くず）、安定型最終処分場 等

(4) 法第21条第1項に基づく技術管理者の氏名（記入例：D）

処理施設の技術管理者の氏名を記入してください。

(5) 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の種類（記入例：E）

産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の該当する方を囲み、下の欄には廃棄物の種類ごとに記入して下さい。

(6) 年間処理量（記入例：F）

令和6年4月1日～令和7年3月31日までに処分した年間処理量を記入してください。

単位は、t又はm³を記入して下さい。

(7) 処理後の産業廃棄物の種類・処分方法・処分量（記入例：G）

①種類

処理後物後の産業廃棄物の種類を記入して下さい。

（例）汚泥の脱水後物は「脱水汚泥」、木くずの焼却後物は「燃え殻」、

がれき類の破碎処分や埋立処分などは、処理前後で性状は変化しないため、処理前の廃棄物の名称。

②処分方法

処理後物の処分方法を記入してください。

（例）自社の処分場に最終処分した場合	→	自社処分場に埋立処分	など
自社の製品原料として利用した場合	→	〇〇の原料として自社利用	など
他者に最終処分を委託した場合	→	最終処分委託	など
他者に中間処理を委託した場合	→	中間処理（焼却）委託	など
他者に有償売却した場合	→	〇〇として売却	など

③処分量

①②の処分量を記入してください。単位は、t又はm³で記入して下さい。

6. その他

紙提出する場合で、報告書が足りない場合には、予め必要な枚数をコピーして使用して下さい。

枚数が多量になる場合は、余白に通し番号を振ってください。